

●●●治験管理センターニュース●●●

第 30 号 2006.11.13

落ち葉が舞う季節となりました。治験管理センターニュース30号をお届け致します。  
今回は主に本院における治験の現状について記載しておりますので、ご覧頂きますようお願い申し上げます。

■ 本院における治験の現状について ■

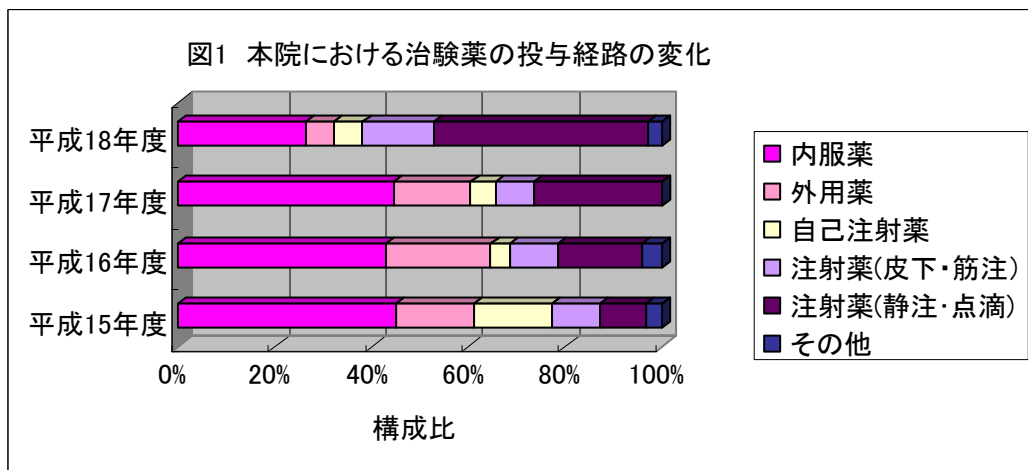
本院が依頼されている治験の治験薬の投与経路について、過去4年間に契約されている治験を対象に調査しましたのでお知らせ致します。

平成15年～17年度までは内服薬・外用薬・自己注射薬で全体の70%を占めていました。しかしながら平成18年度(10月まで)は内服薬・外用薬・自己注射薬の比率が全体の30%程度となっております。

一方、注射薬(静注・点滴)は年々増加傾向にあり、平成18年度は全体の半分を占める状況です。(下記 図1 参照)

今回のデータは、本院も含め大学病院に依頼される治験が生活習慣病や軽症の疾患を対象とした治験から、癌を含めたより重症度の高い疾患を対象とした治験にシフトしている状況が反映されているものと考えられます。これは大学病院とクリニック・診療所の患者背景の違い等を考慮し、依頼者様が施設選定をしていることを示しております。

今後これらのデータを踏まえて、本院でも特性を活かした治験を実施することにより、治験を一層活性化していきたいと存じます。



■事務局からのお知らせ■

◆IRB日程

11月：11月21日（火）

注：当初開催予定の11月28日から変更になりました

12月：12月19日（火）

◆会議室状況

11月中旬から12月初旬まで混み合っておりますので、SDV・アポイント等、お申込みの際はお気をつけ下さい。

---

ホームページアドレス：<http://www2.huhp.hokudai.ac.jp/%7Eetc-w/>

お問い合わせ・配信不要・変更等：[kytwe@med.hokudai.ac.jp](mailto:kytwe@med.hokudai.ac.jp)または電話011(706)7061

---